



2023年10月秋号

Tachibana Junior High School

横浜市立 橋中学校 学校だより

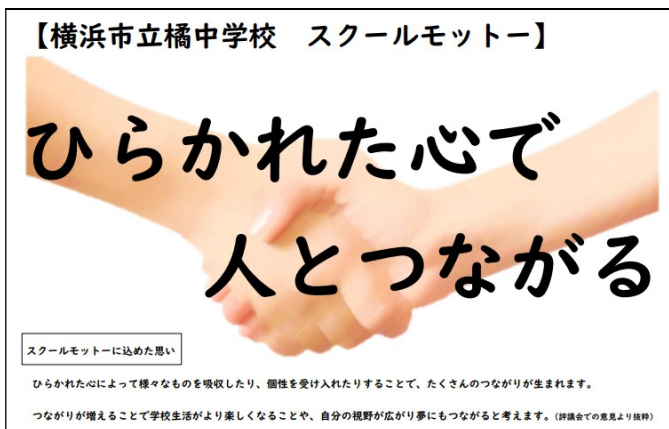
「ひらかれた心で 人とつながる」

ひらかれた心で ～ 音楽の持つ力 ～

校長 兼田宗明

「ひらかれた心で 人とつながる」、これは本校のスクールモットー（教育理念）です。自分をさらけ出し、様々な考えを受け入れそして仲間、家族、地域、世界とつながっていける人になってほしいという願いが込められています。このスクールモットーの中の「ひらかれた」ということばは実は、橋中学校の校歌の中に何度も登場していることばから引用しています。

橋中学校の校歌はここ数年みんなで歌われる機会がめっきり少なくなりました。音楽の時間や入学式、橋響祭の時しか聞いたり歌ったりしたことがないという人がいるかもしれません。歌詞の意味もよく理解せず、周囲に言われるままに歌っている人がいるかもしれません。ところが、機会があるごとに何度も何度も歌っていると自然と歌詞とメロディーが一体となって体の中にしみこんでくる気がすることがあります。ある意味、校歌は私たちの体の一部になっていくという感覚さえ持ちます。そして、歌は今ま



↑ 教室に掲示しています

橋中学校 校歌

- 1 ひらかれた 窓 窓 窓に
自由の風よ 拭きぬけよ
若きは集う 若きは集う
橋橋の 緑の丘に
- 2 ひらかれた 海 海 海に
世界の船の ゆきかえば
若きは燃える 若きは燃える
橋橋の 緑の丘に
- 3 ひらかれた 空 空 空に
虹たちのぼれ 茜富士
若きは学ぶ 若きは学ぶ
橋橋の 緑の丘に

で過ごしてきた環境や経験してきた様々な思い出と結びつく力をもっています。学校生活の中ではクラスの仲間とのかかわり、教科の学習、学校行事などまでが記憶や思い出として歌とともに強くつながってきます。校歌に限らず一つの歌を一緒に歌うということは人と人との強く結ぶ効果があります。人と人の間に音楽があるということはとても素晴らしいことだと思っています。

これからもみなさんには行事や式典などで積極的に声を出して歌ってほしいと思っています。言葉以上に歌っている姿が、姿勢が思いを伝えていることに気づいてほしいと思います。

こちらからも学校だよりをご覧くださいませ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/tachibana/>



秋晴れの下での体育祭

第 45 回体育祭が秋晴れの下、盛大に開催されました。日中は気温が上がってきて日差しが強くなってきたものの生徒のみんなは各競技に精一杯思い思いの力を発揮していました。クラス席からは出場選手を応援する惜しみない声援や拍手が沸き起こり、温かい雰囲気の中で時間が過ぎていきました。

日差しを和らげるためにテントを設営したことや保護者の観戦に人数制限しなかったことなど昨年度よりはバージョンアップした体育祭となりました。



チームビルディング（よりよい集団作り）

先日、先生たちは「チームビルディング」という内容で勉強会を開きました。人が集まると集団ができる。その集団として目指すものは何なのか、またそのためには何が必要かという内容を学びました。その中で、目的と目標の違いについて問われました。答えとして、目的は抽象的でもいいが、目標は具体的なほうがいいということでした。各学級の学級目標について置き換えて考えてみると、抽象的なものからより具体的なものへと変換していくことが必要になってくるかと思えます。この勉強会を通して橘中学校の先生はみんなの教育活動のために一生懸命頑張っていると感じました。

10月の主な学校行事

成績面談、進路面談	10月10日（火）～10月16日（月）
児童生徒交流日	10月25日（水）
橘響祭	10月31日（火） @横須賀芸術劇場
	10時30分 開会式
	10時40分頃 第1学年発表
	11時30分頃 第2学年発表
	13時05分頃 第3学年発表

【橘響祭実行委員長からのメッセージ】

体育祭が終わり、気が抜けてしまいがちかもしれませんが橘響祭まで残り1か月を切りました。今年のスローガンは、

「Only one Tachibana flower ～歌に花を咲かせましょう～」

です。限られた時間の中で真剣に練習に参加しましょう。また、各クラスが持つ個性を生かしながら唯一無二の歌を作り上げてほしいなと思います。そして、今年は例年通り最優秀賞と優秀賞を決めることになっているので是非最優秀賞をめざしてがんばりましょう。陰で支えている方がたくさんいるということを忘れずに、一緒に素晴らしい橘響祭を作りましょう。